



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

会長あいさつ

第五十七代会長 田 辺 實



飯能ロータリークラブ第57代会長としてご挨拶申し上げます。

RI会長ホルガー・クナーク氏のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。「可能性をつかむには様々なアプローチの扉があります。機会の到来の時行動してこそ道は開きます。多様性を重んじ持続可能な良い変化を目指すロータリーは無数の機会への招待です」と説明しています。

第2570地区相原茂吉ガバナーのテーマは「友達をつくろう」です。積極的にロータリーの扉を開き一緒に活動し、そして出来るだけ多くの友達を、すなわち価値観を共有する仲間を一人でも二人でもふやして欲しいと言う事です。

飯能ロータリークラブのテーマは「我等のロータリー」としました。RI会長ホルガー・クナーク氏、第2570地区相原茂吉ガバナーのテーマを基本に、飯能ロータリークラブが、未来に力強く「機会の扉を開き」「友達をつくる」事、それにより共有する価値観の下にロータリーの仲間が集まり固い友情でつながり多様性を重んじ持続可能な良い変化を目指すクラブは無数の機会への扉やロータリーへの扉を積極的に開き、価値観（誠実・多様性・寛容・友情・平和の大切さ）を共有する仲間を増やし未来へつなげる一歩としましょう。それが「我等のロータリー」なのです。その為に3つの目標に向かって行動します。

- ① 楽しく意義のある例会にします。
職業上の発想の交換、友情を深め自己改善を図る例会にしてロータリーを楽しみます。
- ② 職業を通して奉仕活動をします。
事業において高潔さと高い倫理基準をもって行動し、役立つ、価値ある職業を通して奉仕の心を育みます。
- ③ 仲間づくりをします。
会員の友情を深め、連帯感を育み、自己の職業を通して奉仕活動をする事により地域の人々に広く理解を深め、会員の行動姿勢をみて、共鳴する人々で志を共にする職業人の仲間づくりをします。

目標達成に向け例会取消休会に祝日週が含まれる場合を取り入れ年間36回の例会にします。又、年会費を22,000円減額します。例会形式を10人テーブルから4人テーブルに変更し、毎回テーブルごとに会員3分間スピーチを行います。

会員の皆様の御理解と御協力をいただき「我等のロータリー」を築きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

任期を終了して

第五十七代会長 田 辺 實



2020～2021年度飯能RC会長としての任期を終了するにあたり御挨拶申し上げます。

今年度のRI会長ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマとして掲げ、2570地区ガバナー相原茂吉氏は「Let's make fellows! 友達をつくろう」とされました。これをふまえ、飯能RCのテーマは「我等のロータリー」とし3つの目標を掲げました。

1. 楽しい意義ある例会とし魅力あるクラブ作りをする
2. 職業奉仕を通じた地域への社会奉仕活動をする事
3. 仲間づくりをする事

これらの方針を達成すべく計画を立てましたが新型コロナウイルス感染の拡大による「緊急事態宣言」が発出され、臨時休会はもとより計画の実施はほど遠い状況でありましたが、森幹事を始め役員の皆様の御協力により、目標に向かって次の通り一步前進する事が出来ました。

- ①年会費を改訂(26万円を28万円に)し特別会費(42,000円)を廃止しました。
(実質22,000円減額)
- ②細則の定めに従い祝日週を休会としました。(年間43回を36回に変更)
- ③例会方式を変更(10人テーブルを4人円卓に)し会員の交流を深めました。
- ④クラブ戦略計画委員会を新設し長期計画の立案及び提言を行ってもらい、ガバナー擁立を図る。
- ⑤例会において会員卓話3分を行い、親睦・友情を深める事としました。
- ⑥会長の時間を利用して職業奉仕のスキルを高める3分間スピーチを行いました。
- ⑦国際奉仕委員会により、姉妹クラブとの今後の対応について協議、現状維持とする事に決まりました。
- ⑧飯能ロータリークラブ3つの新規継続事業を立ち上げました。
 - ①第1回飯能RC杯 中学生卓球大会(カップ、試合球の贈呈) ロータリー財団補助金事業
 - ②第1回飯能RC杯 スポーツ少年団少年野球大会(カップ、メダル、試合球の贈呈)
 - ③飯能市環境学習用品給付事業に10万円寄付しました。
- ⑨細則変更準備委員会を設置し神田康夫委員長により細則の変更・補足を行いました。
- ⑩事務処理用新パソコンを5月導入し効率化・データ保存システムを図りました。
- ⑪会員増強では新入会員14名に入会していただきました。
- ⑫特別寄付14名(ロータリー財団7名、米山記念奨学7名)、多くの会員の御協力をいただき念願の地区目標を達成しました。
- ⑬新型コロナ感染防止対策を行いました。
 - ①検温・消毒の実施
 - ②夏用マスク2枚支給
 - ③マスクケース配布
 - ④アルコール消毒の配布
 - ⑤飛沫防止パネルの設置(64枚)
 - ⑥出席表、出席カード記入の中止(感染防止を図りました)

年初より恒例の委員長顔合せや座談会は中止となりましたが、10月に10名単位の炉辺会合を行いました。委員会別の委員会開催を要請し、計画の実施や今後について協議をするとともに親睦を深める予定でしたがコロナの為出来ませんでした。又、親睦旅行の中止にともない、6月例会で家族会を開催し親睦を深めました。一年間再三の臨時休会や書面理事会、テイクアウト等により、理事、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけし至りませんでした事、深謝いたします。御協力をいただきました会員の皆様又事務局に、謹んで心より感謝を申し上げ、退任のご挨拶と致します。